

令和 7 年度 指定管理施設運営状況中間評価表

1. 施設の概要

施設の名称	大畑中央公園	
指定管理者	団体名	一般財団法人むつ市教育福祉振興会
	代表者	理事長 村田 尚
	所在地	青森県むつ市大畑町観音堂 2 5 番地 1
指定期間	令和 5 年 4 月 1 日 ～ 令和 8 年 3 月 31 日 (3 年間)	
指定管理業務の概要	<p>管理業務の目的</p> <p>条例に掲げる施設の設置目的を達成するために計画的かつ効率的な施設管理を実施するとともに、市民の健康増進並びにスポーツの振興により生活や文化の向上に寄与することを目的とする。</p> <p>管理業務の範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設運営に係る使用の許可及び利用料金の徴収に関すること 大畑中央公園の施設管理維持に関すること 大畑中央公園の広報及び利用促進に関すること 体育並びにスポーツを通じて地域住民の健康及び体力の向上のための施設提供に関すること 上記に掲げるもののほか施設管理上必要と認められる業務に関すること 	

2. 収支の状況 ※消費税及び地方消費税を含んだ額を計上すること。自主事業分は含まないこと。

※原則として他会計からの繰入金及び他会計への繰出金は含まないこと。

※人件費には、経常の指定管理業務にかかる人件費のみを記載し、臨時的な日雇い雇用などの賃金を含まないこと。

(単位：千円)

区 分	年 間 計 画 額 ①	上 半 期 実 績 額 ②	増 減 (②-①)
収 入 合 計 (A)	50,761	25,250	▲25,511
うち利用料金額	2,210	989	▲1,221
うち指定管理料	48,461	24,261	▲24,200
支 出 合 計 (B)	50,761	25,904	▲24,857
うち人件費	24,204	14,731	▲9,473
収支差 (A-B)	0	▲654	▲654
市への納入金	0	0	0
計画額と比較した実績額の増減理由	※上半期終了時は記載不要		

3. 施設利用の状況

(単位：人)

	区 分	年 間 計 画 ①	上 半 期 実 績 ②	増 減 (②-①)
利用者数	陸上競技場	4,300	2,651	▲1,649
	野球場	2,400	2,900	500
	庭球場	600	144	▲456
	プール	9,000	4,284	▲4,716
利用者の声とその対応状況 ※利用者アンケートの実施 (有)・無)				

利用者の声は、意見箱を設置して利用者ニーズの把握に努めた。ホームページからも意見や要望を受信できるようにした。

今期の意見箱等による利用者の声は少なかった。回答は利用者の目に入りやすいプールの通路に掲示した。意見箱で受けた意見等については、スタッフ全員で共有し検証しており、改善すべき部分は具体的な対策を持って対応した。

また、8月上旬に利用者アンケートを実施した。対象者には帰省客も含まれており、アンケート結果は好意的な回答が多かったものの、厳しい意見については、施設管理者側の真意を丁寧に説明することを心がけ、速やかに、事実に基づき、誠意をもって対応した。

4. 自主事業の実施状況

(単位：人、千円)

事業名	利用者数	収入	支出
スポーツ振興事業・水泳教室	564	476	416
スポーツ振興事業・着衣水泳教室	16	8	28
スポーツ振興事業・ルネックウォーキング	16	10	32
スポーツ振興事業・グラウンド・ゴルフ教室	71	39	80
スポーツ振興事業・少年軟式野球大会	265	52	105
スポーツ振興事業・熟年軟式野球大会	369	40	30
スポーツ振興事業・雪だるまライトアップフェスタ			10

5. 個別項目評価 ※指定管理者と市の所管課が評価

評価基準 A (優 良) : 計画された業務水準を大きく超える、独自の取組を実施するなど、特にめざましい成果を上げることが見込まれる。

B (適 正) : 適正に指定管理業務を行っており、計画された業務水準を達成できることが見込まれる。

C (要改善) : 指定管理業務の一部に課題があると認められ改善の余地がある。

評価項目	自己評価	市の評価
(1) 施設設置目的に添ったサービス向上に関する取組み状況		
①開館時間、休館日等を守り、施設利便性の確保に努めたか。	B	B
②施設の使用許可、使用料減免等が適正、円滑に行われたか。	B	B
③利用者に対する接客マナー等、職員の勤務態度は適正だったか。	B	B
④利用者の意見を聴取し、それらを反映する取組みを行ったか。	B	B
(2) 利用促進に関する取組み状況		
①施設利便性を高める努力を行い、効果が得られたか。	B	B
②潜在的な利用者等に営業広報活動を行い、利用アピールをしたか。	B	B
③自主事業を企画・実施し、効果が得られたか。	B	B
(3) 効率性の向上に関する取組み状況		
①施設管理経費を低減するための取組みを行い、効果があったか。	B	B
②収入増を図るための取組みを行い、効果があったか。	B	B
③職員の資質・能力向上を図る取組みがされたか。	B	B
(4) 施設の適正な維持・管理に関する取組み状況		
①施設の維持管理、運営に当たる人員配置は適正であったか。	B	B
②設備・備品の維持管理及び修繕が適切に行われたか。	B	B
③労働関係法令等を遵守し、適正な管理を行ったか。	B	B

④利用料金の収受及び施設管理経費の支出は適正であったか。	B	B
(5) 平等利用、安全対策、危機管理等に関する取組み状況		
①利用者が平等に利用できるよう施設利用情報提供に配慮したか。	B	B
②日常の事故防止等の安全対策は適切であったか。	B	B
③防犯、防災対策等の危機管理体制は適切であったか。	B	B
④利用者の個人情報保護は徹底されていたか。	B	B

6. 指定管理者総合評価 ㊤自己評価をAとした項目の内容及びCとした項目の改善策を記載すること。

<p>事業経営については、指定管理者としての使命となる施設の活性化、サービスの向上、コストの削減について取組むとともに、施設の利便性の確保に努めた。</p> <p>施設の維持管理については、特にプール施設において、採暖室等の経年劣化に伴う不具合が多数あり、その都度迅速に担当課へ報告し、対応を協議している。</p> <p>燃料費については、燃料単価の高騰が続くものの、プールに使用する灯油は、初夏から高温の日が続いたため使用量を抑えることができた。</p> <p>水道については、夏場の高温により芝生への散水量が増えたこともあり、前年同期と比べ増額となった。</p> <p>広報活動については、施設利用案内チラシを作成し、ホームページで公開したほか、公共施設及びむつ市内の幼稚園並びに小学校へ配布又は掲示等の依頼をした。</p> <p>職員の教育訓練については、施設運営と維持管理を適正に行うとともに、施設利用者の安全を最優先に考え、プール開設前及び繁忙期前に従事員研修を2回実施した。条例・規則及び業務仕様書等を確認して業務内容について共通理解を図った。また、消防計画に基づき、消防訓練及び救助訓練を実施して、職員の安全対策の構築とともに危機管理について確認した。</p> <p>研修等の実施により資質向上とサービス向上の意識づくりを行っている。</p> <p>施設ごとの利用状況については、次のとおりである。</p> <p>陸上競技場は、利用者数は計画人数4,300人に対して2,651人の利用があり、進捗率は62%、利用料金収入は、計画額150,000円に対して74,420円の収入、進捗率は50%であり、前年同期と比べ利用者数、利用料金収入ともに減少した。スポーツ少年団の利用人数の減少が主な要因である。</p> <p>野球場は、利用者数は計画人数2,400人に対して2,900人の利用があり、進捗率は121%、利用料金収入は計画額190,000円に対して121,800円の収入、進捗率は64%であり、前年同期と比べ利用者数、利用料金収入ともに増加した。大会利用の増加が主な要因である。</p> <p>庭球場は、利用者数は計画人数600人に対して144人の利用があり、進捗率は24%、利用料金収入は計画額70,000円に対して26,890円の収入、進捗率は38%であり、前年同期と比べ利用者数、利用料金収入ともに増加した。一般利用の増加が主な要因である。</p> <p>プール施設は、利用者数は計画人数9,000人に対して4,284人の利用があり、進捗率は48%、利用両君収入は計画額1,800,000円に対して766,100円の収入、進捗率は43%となり、前年同期と比べ利用者数、利用料金収入ともに減少した。児童・生徒数の減少が影響しており、利用機会が少なくなっていることが主な要因である。</p> <p>自主事業については、6つの事業を実施した。</p> <p>水泳教室は、5月から実施した。プール施設の利用の機会を増やすとともに、健康増進及び水泳の競技人口増加につながるきっかけづくりとして役割を果たしている。</p>
--

着衣水泳教室を7月に実施した。防災教育として、夏場に向け水難事故への備えについて伝えることができた。

ノルディックウォーキングは、5月、7月、9月の3回の計画をした。7月は悪天候のため10月に順延した。実施ルートは、事前に実地調査を行い、危険箇所や歩行時間等を確認し安全配慮に努めた。10月は菓研溪流散策を計画したが、熊の出没情報が頻繁となり中止とした。

グラウンド・ゴルフ教室は、5月～10月の毎月第2、第4水曜日に実施した。初心者には個別で練習時間を設け、初心者から経験者まで楽しく活動している。

熟年軟式野球大会は、5月から実施した。むつ市内のチームによるリーグ戦（満40歳以上、満60歳未満）を開催している。参加チーム4チームによる総当たり2回戦（6節全12試合）を行っている。

少年軟式野球大会は、第7回あさひな杯少年軟式野球大会として開催した。むつ・下北地域のスポーツ少年団7チームによる、2日日程のトーナメント戦を実施した。熱戦が繰り広げられ、大変な盛り上がりを見せた。

今後も、スポーツ施設の楽しさを提供するため、定期的な教育訓練を通して管理能力の向上を図りつつ、これまで当施設を管理してきた経験を活かしながら、安心・安全で効率的かつ効果的な施設運営を行うこととしている。

7. 市の所管課総合評価 ㊤市の評価をCとした項目についての指導内容も記載すること。

- ・各施設とも老朽化による不具合が発生している中で、こまめな点検や自己で対応できる部分は、修繕や処置を行うことで修繕費等の削減に努めている点を評価する。
- ・施設利用状況については、広報活動に力を入れている点を評価するが、計画人数に対して全体的に実績が下回っているため、継続的な利用者の確保や増加につながるようなサービスを期待する。
- ・職員管理では、各種研修や訓練を実施することで、サービスの資質の向上や安全対策・危機管理に対する認識を従事する職員全員で共通理解できる環境を整えている点を評価する。